

## これまでの取組と評価について

### まなび

#### かかわり合いながら学ぶ授業づくり

考えを友だちと伝え合うことで、考えを広げたり深めたりできるよう、かかわり合いを取り入れた授業づくりに取り組んできました。相談しやすい人数設定や活動内容の工夫、友だちの考えを聞きたくなるような課題の工夫をすることで、子どもたちがいきいきと伝え合う場面が見られました。



#### ノートづくりで高める意欲と学力

ノート検定では、「岡二ノート七か条」を守り、考えを表し見やすいノートづくりに取り組んできました。ノート検定のほめほめタイムでは、けやき班の友だちとノートを見せ合います。「褒めてもらって嬉しいな。」「上学年のノートを参考にしたいな。」などの感想があり、互いに刺激を受けています。また、担任以外の教師がノートを検定し、励ましました。これからも、自分の学びが分かるようなノートづくりに取り組んでいきます。

<児童アンケート結果>

	肯定的評価
友だちと考えを伝え合い、自分の考えの移り変わりをノートに書いている。	95%
学んだ言葉の力を使って、相手に伝わるように話したり書いたりしている。	92%

### からだ

#### 体育・強調週間・大会で高まる走力

新型コロナウイルスのため、持久走大会やそれに向けた強調週間ができなかったり、体育授業自体にも制限がかかったりと特別な1年でしたが、その中でも工夫をして、体育授業で走力の向上につながる準備運動に取り組みました。また、1月には、なわとび大会に向け、全校で個人のなわとびカードに取り組んだり、学年で大なわの練習に取り組んだりしながら、互いに高め合う姿が見られました。



#### 適切なメディア使用を目指した健康週間への取組

年に2回、家庭と連携して生活アップ週間に取り組みました。カードも、ポイントをためていくことで楽しみながら取り組めるように工夫をしたところ、子どもたちのやる気もアップし、1回目より2回目の取組でめあてを達成した子どもたちが多くなりました。

<アンケート結果>

	肯定的評価
体育授業で、走力の向上につながる準備運動に継続して取り組んだ。	100%
生活アップ期間中、平日のメディア時間が2時間以内の児童の割合。	77%

# こころ

## 交流力と挑戦力、安心と自信につながる学級会、けやき班活動の実践

学級力アンケートをもとに学級の課題を発見し、学級会で話し合っ  
て取組を考えました。よりよい学級  
を目指し、決めた取組を実践する中  
で学級活動やけやき班活動で認め  
合ったり讃え合ったりする場面を  
設定し、それぞれの自己肯定感や学  
校、学級の支持的風土の醸成を進め  
てきました。



<児童アンケート結果>

	肯定的評価
自分たちの課題解決に向けて話し 合い、よりよい解決方法を決めて 実行している。	96%
(学級会やけやき班活動で、)互い のよさを学びたたえ合うことが できた。	92%

# しえん

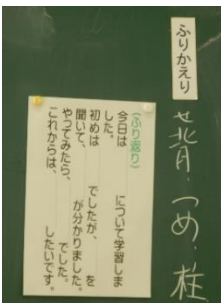
## 岡ニスタンダード授業編（改訂版）の活用

岡ニスタンダード授業編（改訂版）について、各自が有効と考え  
られるものを取り入れて授業を行い、協議会で有効性を検討する。

**焦点化**  
振り返りの型  
を示す。  
など

**視覚化**  
テレビに映し分かりやすく提  
示する。  
ネームプレート、登場人物の絵  
を用いる。 など

**共有化**  
班で話し合っ  
て考えをまと  
めさせる。  
など



<職員アンケート結果>

	肯定的評価
岡ニスタンダード授業編（改訂版）の焦点化、視覚化、共有化の3つ の観点について実践した。	100%
校内公開授業の協議会で、岡ニスタンダード授業編（改訂版）3つの 観点について意見交換した。	100%

